

NEWS RELEASE

NOHMI
能美防災株式会社

能美防災:企業の“備え”が、誰かの“笑顔”になる日。 「ストクル+」、フードバンク 2 団体に売上寄付を実施

能美防災株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：岡村武士、資本金：133 億 2 百万円、東証プライム市場）は、昨年開始した「ストクル+（プラス）」において、このたび売上の一部を一般社団法人全国フードバンク推進協議会に寄付いたしました。

「ストクル+」は災害備蓄品の循環を通じて、社会全体に「笑顔が一つでも増える社会」を届けることを目指しています。その中で、食の支援を必要とする人々に食料を届けるフードバンクの活動は、私たちが目指す社会と深くつながっており単なる“支援先”ではなく、お客様と同等に大切なステークホルダーであると考えています。

・寄付に至った経緯

「ストクル+」では、サービスの特徴の一つとして、売上の一部をフードバンク支援に充てる仕組みを取り入れております。災害備蓄品の循環を通じて社会課題の解決に取り組む「ストクル+」にとって、フードバンクは理念を共有する重要なパートナーです。全国フードバンク推進協議会が取り組む、食の支援を必要とする世帯やその子どもたちへの食品支援は、「ストクル+」が目指す社会の方向性とも合致しており、今回の寄付はその一環として実施したものです。

なお、今回の寄付は全国フードバンク推進協議会のほか、NPO 法人バラエティクラブに対しても実施しています。「ストクル+」では今後も複数の支援団体と連携し、持続可能な事業と社会貢献を広げてまいります。この取り組みを単なる慈善活動ではなく、社会との新しい関わり方の一つと捉えています。



・全国フードバンク推進協議会との意見交換について

寄付実施後、全国フードバンク協議会との間で意見交換を行いました。その中では、企業による食品寄付の取り組みや、フードバンクの現状、活動の社会的意義について意見を交わしました。特に災害備蓄品の寄付は、生鮮食品の寄付に比べて需給の見通しが立てやすく、安定的な寄付資源として有用であるという点を共有しました。

また、食品業界以外の企業がまずフードバンク活動を知ることが、支援の広がりにつながるという意見もあり、「ストクル+」の取り組みに対する期待の声もいただきました。

・今後の展望

「ストクル+」では、今後もフードバンクとの連携を深め、企業の災害備蓄品を有効活用する新たな選択肢を提供してまいります。これにより、処分にかかるコスト削減や備蓄品管理の手間削減、企業イメージの向上につながるとともに、循環型社会の実現にも寄与できると考えています。

今後も、より多くの企業と連携し、備蓄品管理の負担を軽減しながら、社会貢献との両立を目指した仕組みづくりを進めてまいります。

「ストクル+」は、便利さを届けるだけのサービスではありません。災害備蓄品の循環を通じて、企業と社会をつなぎ、“笑顔が一つでも増える社会”の実現を目指す、行動するブランドでありたいと考えています。フードバンクを“顧客”と同様に大切なステークホルダーとして、連携を深めています。



・会社概要

名 称 : 能美防災株式会社
代表者 : 代表取締役社長 岡村武士
所在地 : 東京都千代田区九段南 4-7-3
設 立 : 1944 年 5 月 5 日
資本金 : 133 億 2 百万円（東証プライム市場）
主な事業 : 各種防災設備・システムの企画、開発、設計、施工、保守と各種防災機器の設計、製造、販売
URL : <https://www.nohmi.co.jp>

・本件に関する問い合わせ先

能美防災株式会社 特販事業部 担当：山野・脇山
TEL：03-3265-0237 E-mail：k_yamano@nohmi.co.jp

以 上